	<h2>学校便り</h2> <p><本気・元気・根気></p>	<p>令和6年3月18日</p> <p>第 15 号</p> <p>あきる野市立西中学校 文責 校長 曾我 有二</p>
---	---------------------------------------	--

卒業・進級おめでとう～明日に向かって歩き出せ～

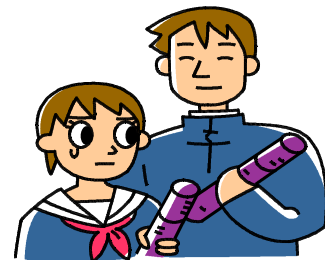
3年生のみなさん、明日はいよいよ卒業式ですね。そんな君たちに、歌手の長渕 剛さんの「乾杯」という曲の一番を紹介いたします。その歌詞は『かたい絆に思いをよせて 語りつくせぬ青春の日々 時には傷つき 時には喜び 肩をたたきあったあの日 あれからどれくらいたったのだろう 沈む夕日を幾つ数えたらう 故郷の友は今でも君の心の中にいますか 乾杯！ 今 君は人生の大きな大きな舞台に立ち 遙か長い道のりを歩き始めた 君に幸せあれ』というものです。いかがですか。

西中で共に肩をたたき合った友のことを忘れず、新しい未来（明日）に向かって歩き出してください。自分が決めた夢に向かって本気で根気よく元気に一歩ずつ歩み続けてください。ころんたら自分で泥をはらってまた前に進んでください。そして、自分の夢を叶えてください。応援しています。卒業おめでとう。

2年生、1年生のみなさんも、先輩から受け継いだ西中魂を忘れずに、新3年生、2年生に自信も持って進級してください。過去には戻れないし、変えることはできませんが、明日という未来は変えることができます。これからです。期待しています。

3年生の保護者の皆様、お子様のご卒業おめでとうございます。明日の卒業式には、是非ご参加いただき、共にお子様の門出を祝っていただければ幸いです。3年間、本校へのご支援ご協力に感謝申し上げます。

1, 2年生の保護者の皆様、今年度も西中の教育活動にご理解ご協力いただき誠にありがとうございました。来年度もよろしくお願い申し上げます。



◆合唱コンクールを開催しました◆

3月7日（木）に、キララホールにおいて、第42回合唱コンクールを開催しました。

1年生から3年生までの各クラスの素晴らしい合唱と6組の合奏が発表されました。

平日のお忙しい中、来賓の皆様や、多くの保護者の皆様もご観覧いただきありがとうございました。「素晴らしいですね。感動しました」と感想を言われた方もみえました。

皆様に感動を与える発表ができて、校長としても生徒を誇りに思います。今後とも西中学校をよろしく御願います。

－粘り強さの西中生！－

中学生人権作文コンテスト東京都大会で賞をいただいた、2年生の作文です。

ダウン症の兄

あきる野市立西中学校 2年

僕は三兄弟の真ん中で次男の[]です。長男の兄は[]、三男の弟は[]、今日は兄の話をしたと思います。

僕の兄は少し変わっています。例えば月を見て泣き、星を見て微笑みます。感情豊かで兄を見ているとポツと気持ちが暖かくなることがあります。

僕の兄は染色体の21番目が通常よりも1本多い3本の状態で生まれてきました。ダウン症候群です。当然ですが僕が生まれた時から家にいて何の違和感も覚えませんでした。弟が生まれ、僕も大きくなり、兄弟3人で遊んでいるときにダウン症のクセの強さは一緒に過ごしているとよく感じるようになりました。嬉しいことがあると本当に嬉しそうにはしゃいだり、悔しいことがあると拳で自分の膝を叩いたり、他の人が見たらきっと面白い光景かもしれません。でもこれが日常です。しかし不思議なのですが兄と生活していると気持ちが穏やかになる気がします。僕と弟が喧嘩していても、その横を鼻歌を歌いながらスタスタと通り過ぎる。喧嘩している気持

ちはどこかへいき、いつしか僕達も笑っている。そんな日常が繰り返されています。それはダウン症として生まれてきた兄の能力なのかもしれません。

兄が小学生の時、兄の同級生達はすごく可愛がってくれていた気がします。兄は支援学校に通いながら学期に一度の副籍を利用して僕の通った小学校に通っていました。でも、兄と違う学年の子は、「あの子誰?」「変だね。」と言っていたのを聞いたことがあります。そんな時は悔しい気持ちと、恥ずかしい気持ちと、言葉では表現できない複雑な気持ちになりました。僕自身、「何で僕のお兄ちゃんは普通じゃないの?」「普通のお兄ちゃんだったら勉強教えてくれたのに」と思うこともありました。でも今は、そんな気持ちはどこかへ消えてしまいました。まだ言葉も上手にしゃべれない兄ですが、目には見えないことに、僕らの目を、思考を、向かせてくれる存在だどつくづく実感するのです。

僕らは目に見えることや結果や現状にばかり心を奪われますが、実は目には見えないもの、例えば心が先でその心や思考が結果や現状を作っていると父が教えてくれました。兄を見ていると本当にそうだと思います。

兄の穏やかな心が兄に穏やかな幸せな現実を運んでいると実感できます。兄の存在が家族皆の支えにすごくなっているし、今は家族であるダウン症の兄がいてくれて本当に良かったと思っています。兄はどこまでも優しく、人を騙したり、妬んだり、憎んだり、そんな感情とは無縁の人です。大げさかもしれませんが兄の傍にいて生きる意味やなぜ僕らが生まれできたかなんて考えることもあります。

つまり兄は、家族にとってそういう存在ということです。

きっと知らない間に計り知れないパワーをもらっていたのだなと最近になってすごく思うようになりました。だから、僕も家族もどんな困難も次の大きなハードルも越えられるのだなと思っています。

これからも兄を支え、兄に支えられ、家族仲良く過ごしていきたいと思います。

まだ見ぬ未来がどんなものか解りませんが、家族と一緒に乗り越えるし、兄について聞かれることがあったら「ダウン症の兄」の魅力を語れるようになりたいです。

兄 ■■■■ は僕の自慢のお兄ちゃんです。

3年生の皆さん
ご卒業 おめでとうございます

